

『宮農アンケート』集計結果の説明

～下井・上岡地区集計～

1

令和2年11月27日

香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ**生の声を再現**する。

営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

皆さまのご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- 目的：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- 対象：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- 方法：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- 使用データ：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- 件数：宛先不明等を除いた実質 5,864件 （総数 7,302件）
- 実施：令和元年12月～令和2年7月
- 回収終了：令和2年9月23日
- **回収件数：3,330件 （56.8%）**
- **面積：1520ha （64.4%）**

下井・上岡地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む

■回収率（人数）は66.2%であり、農地面積の69.1%となった。

表1) 地区別返信率（人数）

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%
6月1日比	(プラス)		711	12.1%

表2) 地区別返信率（面積）

No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%
6月1日比	(プラス)		3,887,751	17.4%

下井・上岡集落別の回答状況

- 各集落とも過半数を超える皆様にご回答をいただきました。

表3) 集落別返信率 (人数)

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
3-1	下井	310	26	284	185	65.1%
3-2	上岡	33	3	30	23	76.7%

表4) 集落別返信率 (面積)

No.	集落	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積率
3-1	下井	1,247,118	869,938	69.8%
3-2	上岡	67,699	39,042	57.7%

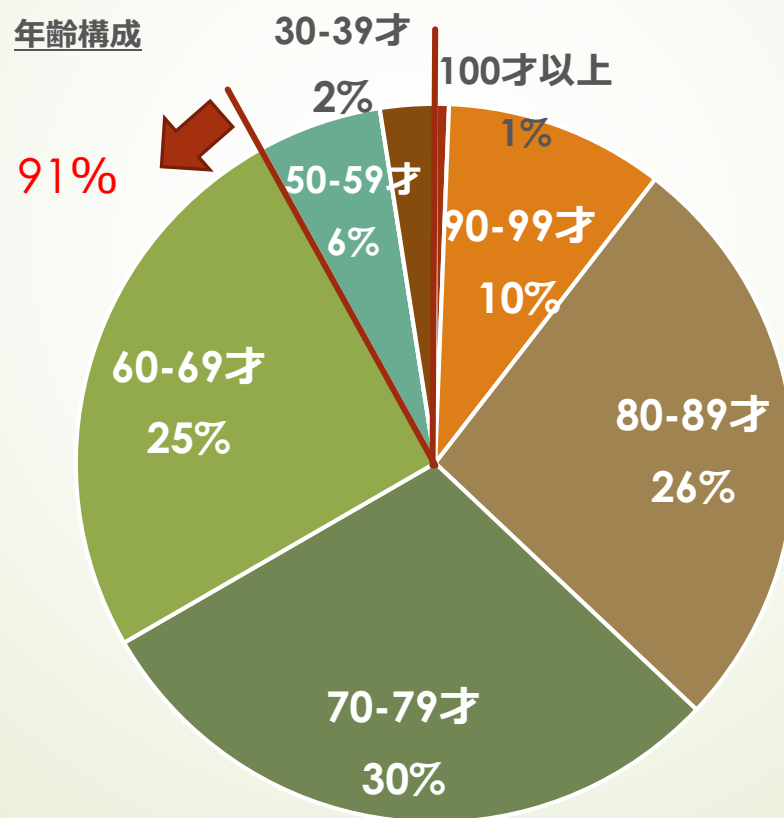
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

アンケート集計 (1)

7

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の91%は60歳以上の状況である。



設問への回答数：162

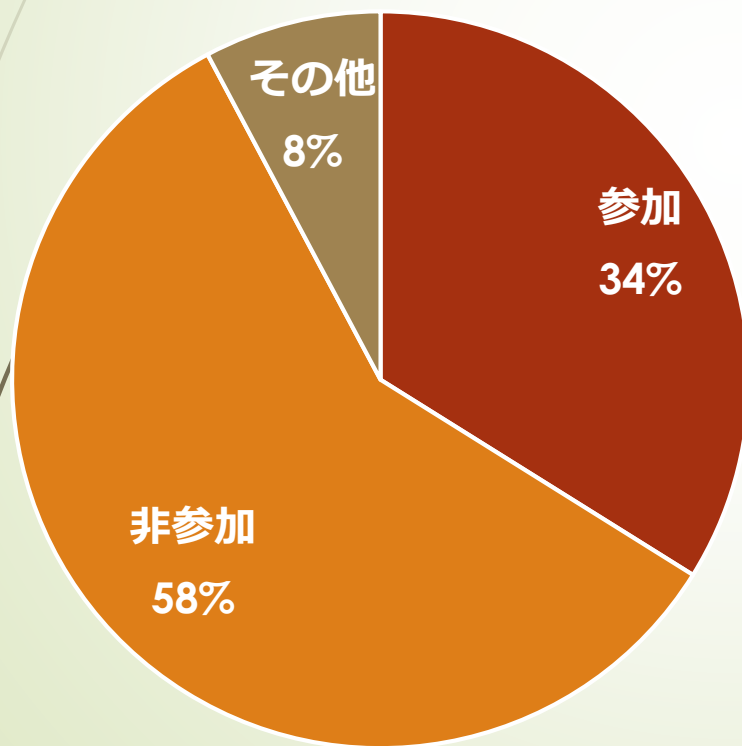
アンケート集計 (2)

8

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の34%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者も、地区方針の内容は知りたいとの意向を持っている。

会合への参加



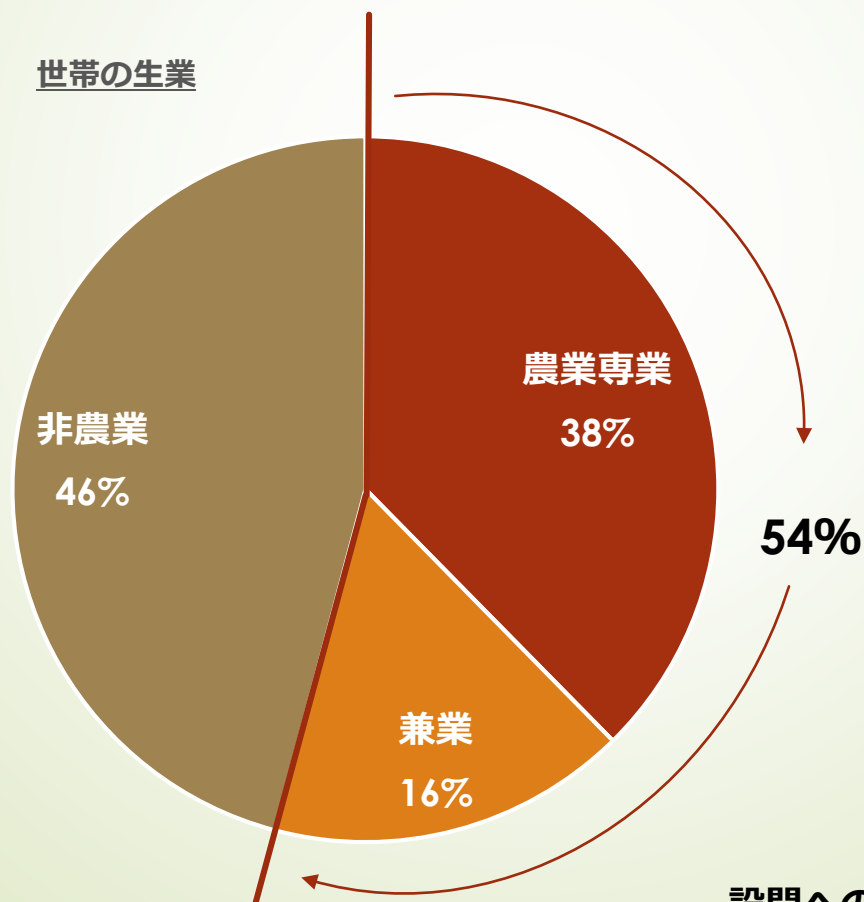
設問への回答者数 : 180

コメント :

- 地域での話し合いは、できれば休日の昼間を希望。
- 地域の会合には、息子が出席。ただし、会社員の為、平日は不可。
- 話し合いへの参加は困難です。地域の方針は聞きますが、こちら（自分）で（それについては）検討を希望したい。
- 時間が許せば話し合いに参加希望。
- 会合には、内容の通知を見て参加する。
- (地域の取組は) そのままで (よい) 。
- 参加は困難だが、議事録は送って欲しいです。
- 当日に都合が悪ければ、後日でも内容を確認したい。
- 今頃、このようなアンケートは遅すぎると思います。当然状況は把握し、対策に手をつけておらねば。

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は54%と半数強に止まる。
- 農業を営んでいない人は46%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家）

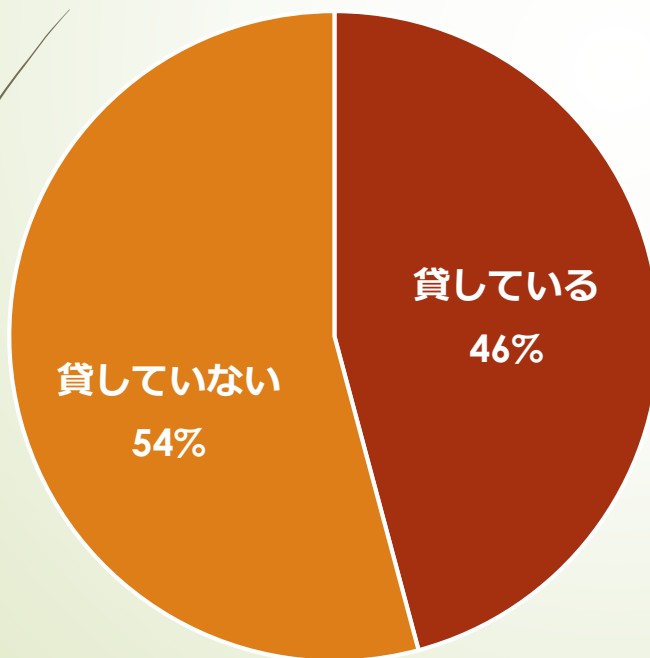


設問への回答数：194

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

- 現状で農地所有者の46%は農地を貸している。

農地の現状

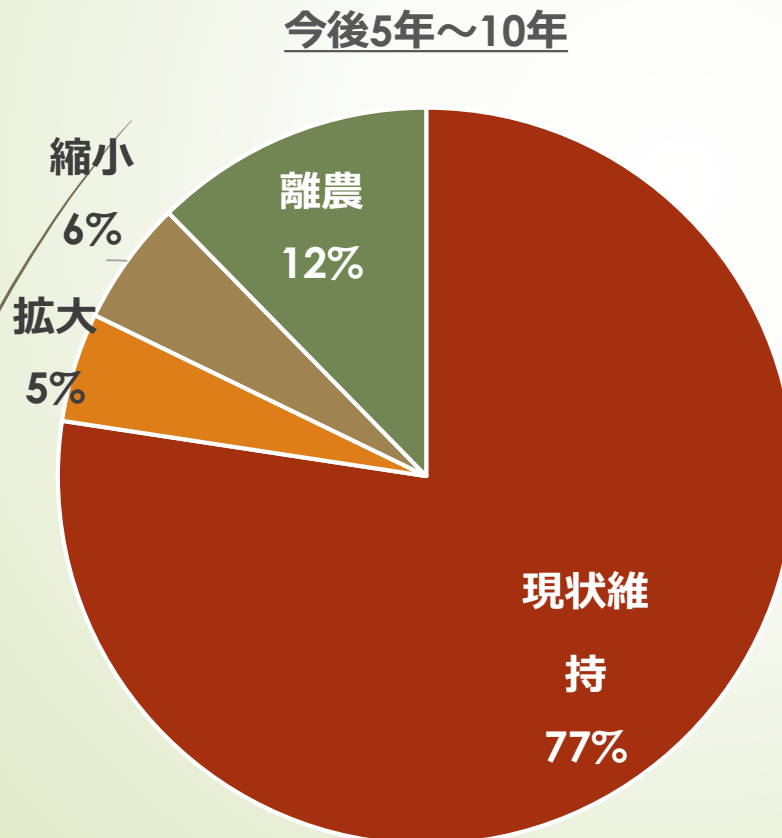


コメント：

- ・現在3人に貸している。今農地を貸している人に売却を考えている。
- ・一部は貸しているが、夫婦とも高齢の為、整理をしたい。
- ・ハウスとして貸しているが、放棄地のようにになっている。
- ・高知市在住。現在1筆貸している。

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持するとの意向が77%あった。
- 一方、農業を辞める、規模縮小する、との回答も併せて18%あった。



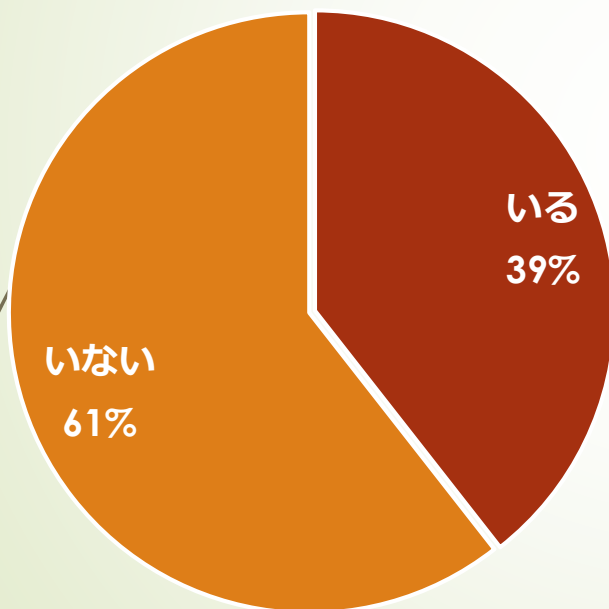
コメント：

- 現状の継続を望んでいますが、私の年齢を考え合わせると、いつまでできるか不明。田畑の耕作をしている方も高齢であり、将来に不安があります。

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が約6割あった。
- 跡継ぎは居ても農業を継ぐかは不明。
- 農地を借りて耕作する側も跡継ぎ不在という状況も伺える。

農業後継者



設問への回答者数：175

コメント：

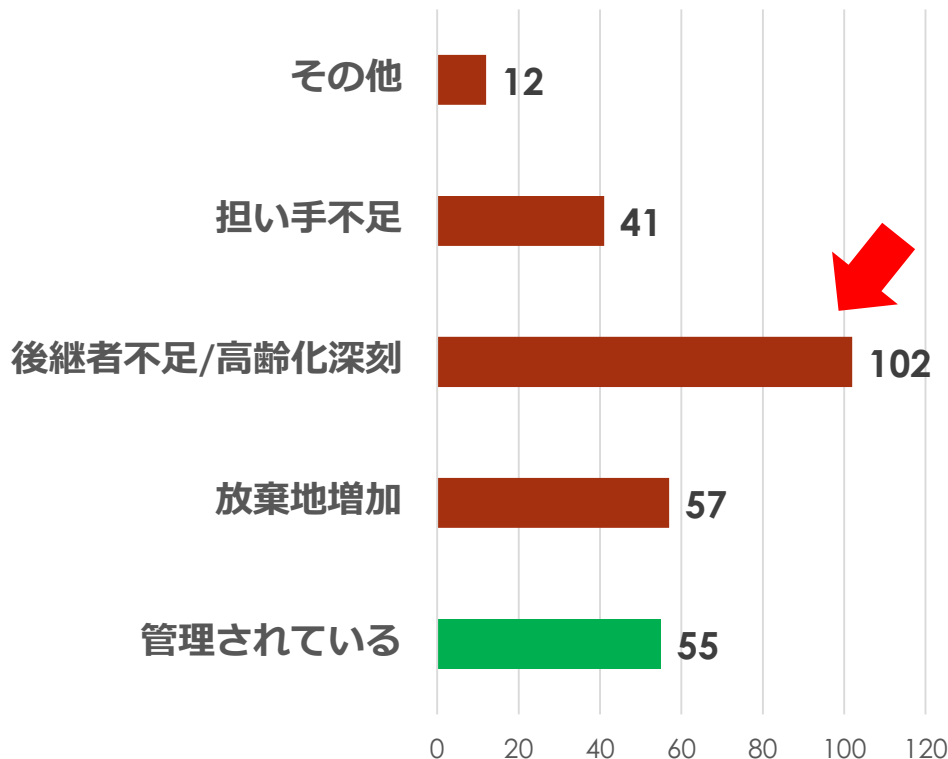
- 息子はあるが、農業はやらない。
- (後継者はあるが、) 現在はサラリーマン。
- 跡継ぎはあるが(現在都市に居住の為) 農作業能力はない。
- (跡継ぎは) いるが、息子はどうするかわからない! ?
- 長男が兼業で28a栽培。
- 現在、人の農地を耕作している。1町2反ぐらい。後継者は居ない。

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようになっていますか？

- 後継者不足や高齢化が深刻であるとの認識が多い。

地域の農業者/農地の状況



コメント：

- 4筆米を作っているが、生計を立てるほどの収入はない。
- 横浜市在住。高知東部自動車道の収用で、わずかの農地宅地の残地が現在ある状態で、活用もできない状態。
- 市外からの耕作（小作）が目立つ。
- 現状では収益は得られないので、担い手（となるのは）むずかしい。
- 放棄地にしないため、草刈りなどを行っている。
- 担い手ではなく、農家が大事である。
- （農業後継者は）10年後に全くいなくなるだろう。
- 行政による農業に対しての補助金は、大規模経営者に集中していて、中小にまで及ばない。農業機械が高すぎる。
- よくわからない。
- 伝聞では、高齢化、担い手がない、と聞く。
- 周辺の状況を把握する事が出来ていません。

アンケート集計 (8)

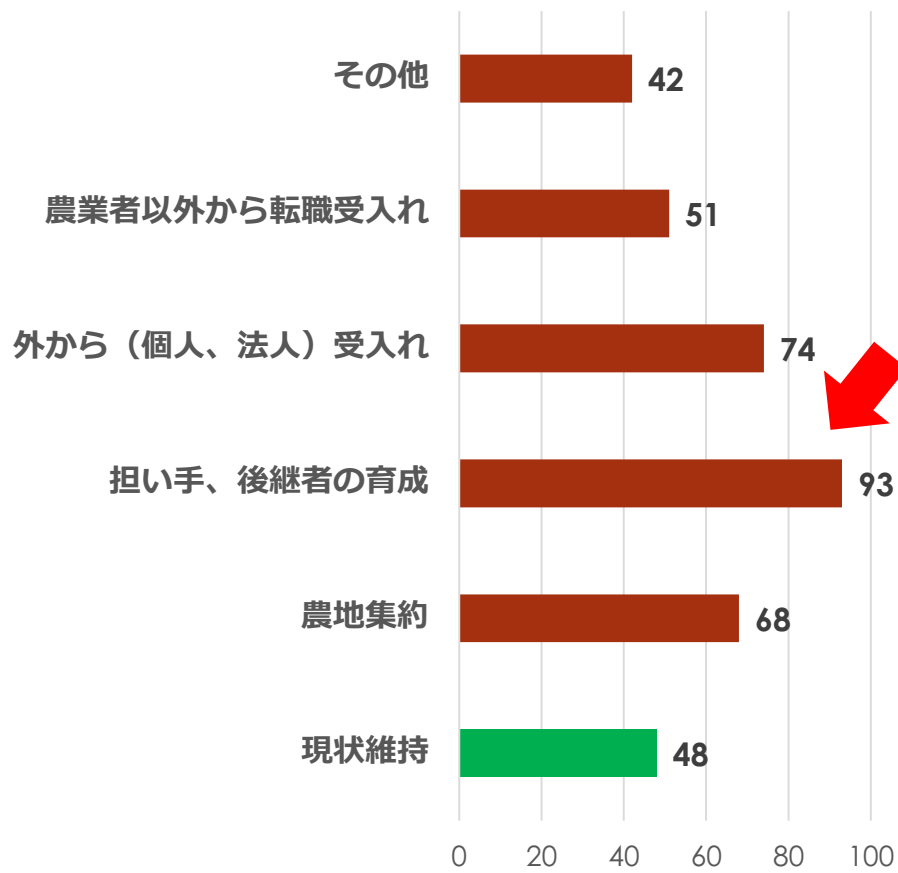
持続可能な農業のために

14

Q6. あなたの地域の農業が5～10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 現状維持で地域の農業を維持できる状況ではなさそうである。

持続可能な農業



設問への回答数：376

コメント：

- 地域についてはわかりません。専業農家の方の意向が大切かと思います。
- 地域の農業状況がよくわからない。
- 不明。/わからない。
- 不可能。
- 営農しやすい区画にする、後継者を育成する。5年後くらいには自分も決断せねばならない。**農地農業を守る組織 また相談所が必要です。**
- 市外からの耕作（小作）が目立つが、隣地の所有者に希望があれば、小作を勧めては？
- 昔から続く農家を潰し、農家でない何も知らない若者に、国が金を出して農業をさせようとムリな事をムリにするからムリである。昭和30～40年頃の農政（輸入を最小限に）に戻すと皆農業をするようになる。**小規模農家や兼業農家が大事な役目をしているという事を忘れてはいけない。**（そうしないと）国土の保全はもちろんの事、日本の文化のほとんどがなくなる。選択肢4.5（**地域外からの受け入れ、農業者以外からの転職**）をやると、**ますます地域の結束は無くなり、農家農村は衰退（崩壊）してしまう。**
- 新しいハウスの建設者への補助については、たとえ収入や収支がマイナスでも、長い目で見てプラスになるように、補助を増やす。海外からの輸入を少なくする。
- **農業林業ともに育成が必要と思う。**商工業重視の政策の現状では、立ちゆかなくなりそうです。
- **（農地）老後自分で作ります。**

アンケート集計 (9)

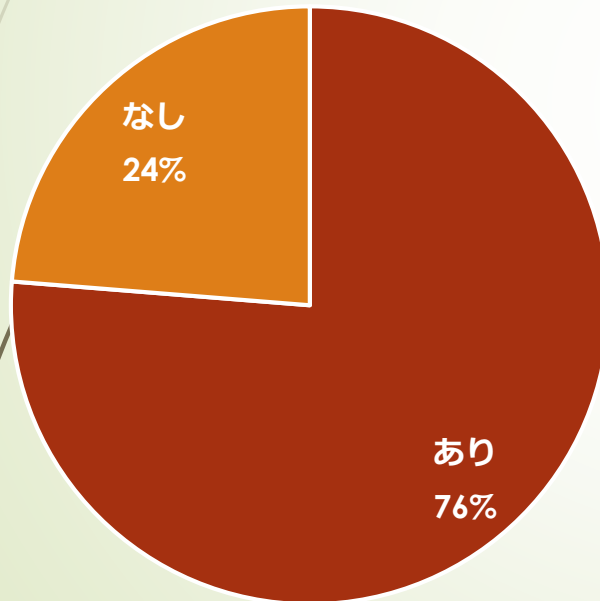
売りたい・貸したい農地候補

15

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 貸し売り希望の背景は、農業者が体力的に続けられない状況、あるいは後継者不在、遠方に所在する等である。
- 『賃貸』を希望の背景には、代々受け継いだ農地なので『売却』を避けたい意向もある。

売り貸し候補地



設問への回答数：59

コメント

(貸したい)

- 耕作者なし
- 進入道路無し。
- 道がなく車もトラクターも単独では入らず、不便。
- 米をよう作らんなったら、貸したい農地があります。
- **代々（受け継いだ）田を手放さず、近所に迷惑をかけず、放棄地にせず、管理してもらいたい。**
- 自分で耕作をしています。将来は、耕作を請け負って下さる方に、期待します。
- 維持管理する者がいない。
- 維持管理が大変。

(売り貸し)

- ハウス有。高齢化の為。

- 売却希望の背景には、後継者不在、遠方に所在する等の理由に加えて、農地として耕作条件が良くない点を上げているケースがある。

コメント

(売りたい)

- 高齢化で維持管理する者がいない。母が生存中は現在のまま貸出するが、母が亡くなった後、できるだけ処分したい。
- 後継者なし。遠隔。
- 子供無く相続不能につき全財産を売却したい。

- 高知市内から（野市まで来て）の作付けなど、いつまでも（続けていくのは）むづかしい。

- 道がなく不便。現在貸与中。
- 耕作者に貸していましたが、水の取り決めが不便で、契約終了になってしまいました。

- 今すぐにも農業をやめることを考えている。
- 現在貸している。しかし借り主は買い取る意思がないとのこと。
- 早く売りたいと考えています。
- よろしくたのみます。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景まとめ

17

農業者側の事情

- 老齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備

農地としての適性が低い。

稲作の採算

- 米づくりは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 相続者なし

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却